

決裁区分	部長	課長	課長代理	担当	起案	分類	0・2・4
丙	諸星	志村	志村	久保谷	石原	起案	30・2・26
						決裁	30・2・26
						施行	・

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 本部会		
	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 公共施設使用基準等調整 プロジェクトチーム		
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 29 年度 第 4 回 公共施設使用基準等調整 ワーキンググループ		
開催日時	平成 30 年 2 月 23 日 (金) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 2 時 0 分		
開催場所	講堂		
出席者	市民相談人権課長	スポーツ推進課長	カルチャーパーク課長
	文化会館長	図書館長	地域福祉課長
	こども育成課長	高齢介護課主任主事	
	公共施設マネジメント課長		
	事務局	公共施設マネジメント課主査	
議 題	1 新使用料制度に関する市民意見について 2 その他		
配付資料	資料 新使用料制度に関する「利用者等の声」一覧表		
会 議 結 果			
1 新使用料制度に関する市民意見について			
① 各課等から集約した市民意見は資料のとおり。当然、使用料の額に関する意見は多いが、高齢者の健康増進と負担軽減を目的とした「70歳以上の共用使用の無料化」についての否定的意見が多い。今後も実施の影響を注視する必要はあるが、財政面又は他の施設利用者への影響が大きいようであれば、改正の必要も出てくるだろう。			
② 「はだのっ子応援券」の申請の負担が大きいという声がある。 ⇒利用者側にも行政による子育て支援について実感していただくという視点が必要と考え、自動的な減免にはしなかった。現在、120ほどの団体と40名ほどの個人が登録しているが、今後も動向を注視していきたい。			
③ 図書館視聴覚室は新規開放施設だが、利用は伸び悩んでいる。 ⇒他施設で希望どおり予約できなかった方への案内なども必要になると思われる。			
④ 減免に関する意見は各施設の一覧に無かったが、市長が減免制度に関して疑問を持っているようだ。これまでの経過等について直接説明する時間を設定していただいているので、各課にもお知らせする内容があれば、後日お知らせする。			
⑤ 末広ふれあいセンターは新規有料化施設であるが、施設環境の整備の必要性という点では、青少年の健全育成（「集団居座り」の防止等）の面で課題がある。			
2 その他			
① 「はだのっ子応援券」について、年度切り替えで団体の事務担当者が替わることに 関する変更手続の問い合わせがある。原則は変更申請をしていただくことになるが、市 から利用者側に連絡するのは3年後の更新の案内程度であるので、それに支障が無けれ ば施設側でも臨機応変に案内していただきたい。			
備考			